

ファルコーン！！

闇サトシ

[ミステリアスパートナーNO.9](#)、ピラミッドエリア2人目のボス。

アニメ「[ポケットモンスターシリーズ](#)」の主人公・サトシのこと。

サトシ自体は1作目の赤緑主人公をモチーフにしたアニメオリジナルキャラで、原作ゲームには登場しない。

むしろ1作目以降のゲーム作品が、アニメの影響を受けていることがある。

(「ピカチュウバージョン」の内容の一部や、「金・銀・クリスタル・ハートゴールド・ソウルシルバー」で初代主人公がゲーム中最強のトレーナーとして登場した際の手持ちなど)

サトシの声優の松本梨香さんは、[遊戯王](#)に登場する[獏良了](#)(DMの途中から担当)も演じている。

サトシと闇バクラは性格が正反対(*1)でそのギャップが笑えるため、

サトシにバクラ、バクラにサトシの声を使ったMADがニコニコで多数アップされている。

前者が「闇サトシ」、後者は「光バクラ」と呼ばれる。どちらも性格は悪い。

また、闇サトシはMAD製作者によって多少性格が異なる。

ポケモンの死を何とも思わない外道な性格と、ポケモンの苦しむ姿を愛でるDSな性格。

前者はポケモンを死ぬまで戦わせるが、後者は苦しませるだけで満足のような。

闇サトシ動画でよく使われる、黒いオーラを纏った目つきの悪いサトシはアニメ第二シリーズ「ポケットモンスター アドバンスジェネレーション」178話(無印からの通算454話)でポケランティス王の霊に体を乗っ取られた状態である。

この時のサトシは口調が闇バクラと似ていたが、声はかなり低くなっている(声優はオーキド博士と同じ石塚運昇氏)。

劇中では「天井を崩して相手を瓦礫の下敷きにしようとする」「審判を盾にするよう指示」等の卑怯な戦い方をしていた。

しかしサトシ本人の意識はわずかに残っており、対戦相手のジンダイが繰り出した

岩タイプのレジロックと相性の良い草タイプのジュカインを選択した。

ニコニコRPGではジュカインではなく、[ピカチュウ・ファルコン・ラーの翼神竜](#)を繰り出してくる。

これらのポケモンの選択とニックネームは、下記の「[闇サトシVSパロシ](#)」が元ネタになっている。

闇サトシとの戦いはポケモンバトルを再現しており、サトシへ攻撃をしても意味はなく、

相手のポケモンを全滅させると勝利となる。

闇サトシはゲームと同じようにすごいきずぐすりやディフェンダーでポケモンをサポートする。

何故か道具を自分に使ってくることもあるが...

ちなみに、くりだされる3匹のポケモンは原作と同様技を4つまでしか使えないなど細かいネタがきいている。

なお、闇サトシにはミステリアスパートナーで唯一[エロ動画](#)が効果を発揮する。

とは言っても、前述の通り闇サトシ自体はポケモンのサポート役なので(それも必ずしも効果的とは言えない)、

彼の行動を封じることにそこまで意味はない。

恐らく偶然だが、闇サトシがポケモンバトルをした場所はバトルフロンティアの一つ「バトルピラミッド」、

対戦相手もフロンティアブレン・「ピラミッドキング」のジンダイなので、

闇バクラ以外にもピラミッドとの関連性が(一応)ある。

[ミステリアスパートナー](#)の中で敗戦後、[魔王アナゴ](#)の元に戻ってきたのは彼と[水銀燈](#)だけである。

第31話ではアナゴ・水銀燈と共にニコニコ最深部への鍵を取りに向かったFoo子の前に現れ鍵を奪おうとしたがあと少しのところ

で失敗。その後は[Nice boat](#)を破壊するため、水銀燈と共に[ピコ麻呂](#)達の前に再度姿を現すが、足止めとして残った三人の坊主に

苦戦してしまい、[魔王アナゴ](#)が倒されたことを知ると一目散に逃げていった。その後の詳細は不明。

[31話のおまけ動画](#)では、[BGM](#)のリズムに乗りながら壁に何度も激突し、

最後に参加者中唯一[爆殺](#)してしまった事が視聴者に笑撃を与えた。

[お絵かきBBS](#)などのトロッコレースのイラストでも壁に激突する様子が描かれていることが多い。

関連動画

[タグ検索：闇サトシ](#)

- ・ 闇サトシ関連で最も有名であろう動画。
- ・ 修正版。小ネタが非常に増えているので探してみよう。
- ・ ポケモンAG177話(サトシの声のみ差し替え)
- ・ その他MAD